

免許取得ですぐエコドライバー「楽エコ教習」が10周年 全世代の34,519人に多様なエコドライブ普及啓発活動を実施

エコドライブを取り入れた新規運転免許取得者向けの教習『楽エコ教習』を2008年より実施している指定自動車教習所ファインモーターズスクール(株式会社臼田、本社:埼玉県さいたま市・代表取締役:臼田 和弘、048-641-7185、URL:www.fine-motorschool.co.jp)は、2018年11月で「楽エコ教習」10周年を迎えました。

「楽エコ教習」は、日本で初のエコドライブが身につく教習です。エコドライブに必要な知識や技術が体系的に学べる構成になっています。したがって、卒業と同時にエコドライバーになることができます。

この10年の間に「楽エコ教習」を中心とする、多様なエコドライブ普及啓発活動を実施しました。それらの参加人数は、のべ34,519人となりました。子どもから高齢者まで幅広い年代層にまたがっているのが特徴です。

【活動の背景】

京都議定書の目標達成からパリ協定へ

国内のCO2排出量の約2割は運輸部門が占めており、中でもその90%は自動車から排出されています。地球温暖化防止を考える上で、自動車の存在を軽視することはできません。対策として運転自体をしないという方法もありますが、今でも自動車は生活の必需品となっています。そのため、自動車の利用を抑制することのみではなく、地球環境と自動車との「共存」にこそ解決の道があると考えています。ただし、エコカーに乗ればエコドライブをしなくても良いわけではありません。どんな車でも、運転の仕方次第で燃費(CO2の排出量)は変わります。つまり、より環境負荷を減らすため、すべてのドライバーにエコドライブの必要性を伝えていかなければなりません。また、法人ドライバーに比べ、個人ドライバーのエコドライブに対する認知度や関心が低い現状もあります。

そこで、教習生に対する啓発を中心に、既に免許を取得している人や、まだ免許が持てない子ども達が将来、地球に優しい車の使い方を考えられるドライバーになるよう、多様な活動を通じて啓発し、長期にわたってより多くのドライバーに、エコドライブを実践してもらうことで、少しでもパリ協定やSDGsの目標達成に資することを目指しています。



楽エコ教習の様子



小学校でのエコドライブ出張授業

(会社概要)

社名: 株式会社臼田 代表取締役: 臼田和弘 設立: 1962年(昭和37年) 資本金: 4800万円

事業概要: 自動車教習所ファインモーターズスクール3校(大宮、指扇、上尾)の運営

本社: 〒330-0804 埼玉県さいたま市大宮区堀の内町2-322-3 TEL: 048-641-7185 (代表) FAX: 048-641-3543

会社サイト: <http://www.fine-motorschool.co.jp>

ニュースリリース(2/2)

【これまでの活動実績(抜粋)】

開始年	取り組み内容	対象者数と属性
2008年11月から	「 楽エコ教習 」 免許を取得段階で自然とエコドライブが身に付く日本唯一の教習	教習生:22,022人
2008年から	「 メディアへの発信 」 多様な取り組みをメディアを通じて情報発信し、2008年からこれまでテレビ放映や新聞掲載などを獲得し、エコドライブ啓発に寄与した	テレビ、新聞、雑誌、Webニュース等:350件
2009年から	「 職場体験・インターンシップ 」 毎年行っている職場体験受け入れの中では、中高生に対してエコドライブ教育を行った。インターンシップの中では、大学生へエコドライブ教育を行っている	中高生、大学生:のべ286人
2009年から	「 エコドライブキャラバン 」 年間約12件の地域イベントへ出展し、来場者に対してエコドライブ啓発活動を実施	地域住民:1,895人
2010年から	「 ファインの森づくりプロジェクト 」 エコドライブによって削減しきれないCO ₂ の吸収を促進するため、教習料金の一部をNPO法人へ継続的に寄付し、森づくり活動を支援している。また、同NPOとの協働により、毎年秋に栃木県の喜連川山林にて行っている森づくり体験イベントでは、エコドライブの必要性を理解してもらうための環境教育を行っている	地域住民:85組252人
2012年から	「 親子交通安全フェスティバル 」 1998年から(校舎によって開始年が異なる)毎年3回(大宮校、指扇校、上尾校それぞれ1回)行っている地域の親子向けに教習所を一日開放して行うイベント。2012年から環境ブースを設置し、来場者にエコドライブ啓発を行っている	地域住民:9,253人
2012年1月のみ	「 自治体向けエコドライブ講習 」 埼玉県庁と協働し市町村職員に対し、各自治体での普及啓発を目的にエコドライブ指導者養成講習を行った	県内の市町村職員:35人
2013年から	「 エコトレーニング 」 毎年、さいたま市・JAF・当スクールの3者で共催しているエコトレーニングでエコドライブ講習を実施	地域住民等:78人
2015年6月から	「 エコフェスティバル 」 埼玉県越谷市立大袋東小学校の教室で児童(4グループに分かれて)に対し児童参加型のエコドライブ寸劇授業を実施	児童:500人
2015年6月から	「 ECO drive SAITAMA 」 燃費管理サイトの運営を開始し、埼玉県、さいたま市、上尾市、JAF埼玉支部、埼玉県トラック協会、埼玉県地球温暖化防止活動推進センター、さいたま市地球温暖化対策地域協議会の後援を受け、県民のエコドライブ実践支援をしている。	登録者数:198人

【環境面への効果】

1万2334トンのCO₂排出削減／年

(卒業生22,022人:9,469t、その他の啓発活動12,497人:2,865t)

【受賞歴(抜粋)】

- ・平成28年度 彩の国埼玉環境大賞 大賞
- ・2016年 第15回あげお環境賞 あげお環境賞
- ・低炭素杯2016 文部科学大臣賞
- ・平成27年度 地球温暖化防止活動 環境大臣賞
- ・平成26年度 エコドライブ活動コンクール 審査委員長特別賞
- ・平成24年度 環境保全功労者表彰 環境大臣賞



楽エコ卒業生2万人達成時セレモニーの様子

当スクールは指定自動車教習所であり、教習業務が本業です。その本業を通じて行う温暖化防止活動が、他のエコドライブに関する多様な取り組みの基軸であり、今後も免許制度が続く限りエコドライブ普及活動は継続していく計画です。また、全国の指定自動車教習所の卒業生は年間約110万人おり、その全てでエコドライブを取り入れることができれば、毎年40万トンの排出削減量追加も可能になります。まずは、埼玉県内にエコドライブを根付かせるため、多くの団体から後援を受けている燃費管理サイトを、県内でのエコドライブ普及活動の中心的存在にし、埼玉から全国へエコドライブの輪が広まり、パリ協定やSDGsの目標達成に貢献できるよう努力してまいります。